

授業科目 社会福祉援助技術総論Ⅱ

【担当教員名】 村上信	対象学年	3	対象学科	社会（3年）・作業（2年）
	開講時期	後期	必修・選択	必修（社会）・選択（作業）
	単位数	2	時間数	30

<概要>

社会福祉の諸施策をサービス利用者にとって価値あるものにするために、福祉施策を具体化していく過程で不可欠なソーシャルワーク（社会福祉援助技術）に関する全体系を総合的に学ぶ。

総論Ⅱは、ソーシャルワークの総合化、対象別・分野別専門分化、チームワークおよびケアマネジメント、サポート・ネットワーク、エンパワメントなど新しく開発され実践されている技法について学習する。

<学習目標>

1. ソーシャルワークの理論の動向と最近の理論の特質について理解する。
2. ソーシャルワーク実践の視点と実践過程を理解する。
3. 事例を通してソーシャルワークがとらえるニーズと社会資源の連結・調整について学習する。
4. 社会福祉の理念や制度構造に関わる改革と関連してソーシャルワーク実践のありようについて考察を深める。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO
		番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	理論の動向（1） 新しい社会福祉のニーズに対応する理論の動向について学ぶ	講義
2	理論の動向（2） ライフモデルと生態学的視座について学ぶ	
3	理論の動向（3） エンパワメント・アプローチと社会構成的アプローチについて学ぶ	
4	福祉改革と援助技術 制度・政策の動向が実践・技術の体系に及ぼす影響について理解する	
5	展開過程（1） ソーシャルワークの展開過程を理解する	
6	展開過程（2） ソーシャルワークの展開過程、特にアセスメントについて事例で学ぶ	
7	展開過程（3） 展開過程のうち、特にモニタリングと評価について事例で学ぶ。	
8	ケアマネジメント（1）ケアマネジメントの概念と構成要素について学ぶ	
9	ケアマネジメント（2）ケアマネジメントとソーシャルワークの関連について理解する	
10	ニーズと社会資源 社会資源とは何か、事例を用いて社会資源活用上の留意点を理解する	
11	専門的援助関係（1） 専門的な援助関係とは何かについて学ぶ	
12	専門的援助関係（2） ソーシャルサポートについて学ぶ	
13	専門的援助関係（3） 援助関係とコミュニケーション技術について学ぶ	
14	まとめ 全体を通してのまとめをする	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	『社会福祉援助技術論Ⅰ』	福祉士養成講座編集委員会編集	中央法規	2003年版でも可
	『社会福祉援助技術論Ⅱ』	福祉士養成講座編集委員会編集	中央法規	2003年版でも可
参考書	社会福祉援助技術論というタイトルで出版されている書物、たとえばミネルヴァ書房や有斐閣、建帛社、全社協などの出版物			
その他の資料	必要に応じてプリントを配布する			

【評価方法】 定期試験	【履修上の留意点】
----------------	-----------